

外国語(英語)科学習指導案

神石高原町立三和中学校

- 1 日時・場所 令和5年11月16日(木) 9:45 ~ 10:35
- 2 学年・学級 3年A組(男子7名 女子14名 計21名)
- 3 単元名 Lesson5 I Have a Dream (NEW CROWN English Series3)
- 4 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領(3)話すこと[発表]の「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」ことをねらいとし、設定した。

本単元は、有名な偉人であるキング牧師のスピーチを基に、1950年代から1960年代にかけて実存した差別問題について取り上げておりキング牧師が後世に残した遺志について学ぶことができる単元である。さらに、単元前半では外国で訪れるべき有名な場所を紹介したり、偉人を紹介したりするなど、日常会話でも頻出の、自分以外の人や物を紹介するということがテーマとして取り上げられている。

言語材料は、関係代名詞の目的格を扱う。その用法や意味の理解のもと、人や物について詳しく紹介したり、詳細な内容を加えて説明したりすることが可能となる。したがって、日常的な話題について、事実や自分の気持ちや考えなどを整理してまとまりのある内容を話す力を育成するのに適した単元であるといえる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、授業規律が確立されており、落ち着いて授業に取り組んでいる。1人1人の英語の使用量を確保するためにグループ活動よりペア活動をするのが多く、ペアでインタビューなどの活動を行っている。ただ、個々の様子を見ていると、基本的な文構造が定着しておらず語順が正確ではなかったり、「型」を示さなければまとまりのある英文を話したりすることができない生徒が半数程度いるのが現状である。

5月に行われた全国学力・学習状況調査「話すこと」の結果は以下のとおりである。

全体の平均正答率「話すこと」	6.0%(全国比- 6.4%)
全体の平均正答率「話すこと[発表]」	5.3%(全国比+ 1.3%)

調査の結果を分析すると、「話すこと[発表]」の調査問題「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうか」に対する正答率は5.3%であるが、人数比で見ると対象生徒19人に対して正答したのは1人のみである。解答類型を見ると、正答の条件①「話し手の意見に対する自分の考えを伝えている」、②「①の理由を伝えている」に対して、①を満たしている

のが1人、条件①に触れずに、与えられた話題について自分の考えのみを解答しているのが2人、条件①②を満たさないで解答しているのが13人、それ以外が1人、無回答が1人であった。これらのことから、コミュニケーションの目的や場面を意識せず、自分の伝えたいことのみを話していたり、また理由をふまえて話したりすることができる生徒が少ないことが分かる。さらに無回答の生徒もいることから、問題で求められていることを理解していなかったり、自分の考えや意見をもっていない生徒や自分が伝えたいことを整理できず、まとまりのある内容を話すことができない生徒もいることが考えられる。

次に、Lesson3の単元終了後に行った「話すこと[発表]」のパフォーマンステストの結果は以下の通りである。

【課題】2学期から新しく勤務するALTのJansenは日本の漫画が大好きです。しかし、どのマンガを読むべきか分かりません。あなたのおすすめするマンガを紹介してください。

【見取る視点】

- ① 物語のあらすじを伝えているか。
- ② 自分の考えとその理由を伝えているか。
- ③ ALTが紹介するマンガに興味をもつような発表の工夫がされているか。

以上3点のうち、①、②が達成されていればb、全て達成されていればa、それ以外はc評価とする。

【結果】

a 評価・・・4/19 b 評価・・・12/19 c 評価・・・3/19

この結果から、19人中16人の生徒が物語のあらすじとともに、自分がなぜそのマンガを紹介したいのか、考えを理由を含めて発表することができたと言える。これは、マッピング等の思考ツールを活用し、伝えるべきあらすじの内容について整理させたり、単元の中で友達と発表内容を交流し合う中で、“Why do you like it?”等の質問を意図的にさせたりしたことにより、自分の考えを発表内容に取り入れることができたことが要因であると考えられる。一方で、a評価の人数が少ないのは、発表中のALTへの確認や呼びかけを行う余裕がない生徒が多かったり、あらすじを紹介する際に、続きが気になるような仕掛け(あらすじの紹介をあえて途中で終える等)を行ったりする生徒が、相手意識をあまりもてていないために少なかったことが原因であると考えられる。更に、c評価の生徒が3人いたのは、あらすじの紹介内容を整理しきれず時間を費やしてしまい、自分の考えを理由とともに話すことができなかったことが大きな原因であると考えられる。

最後に、1学期末に行った校内の教科アンケートの結果は以下の通りである。

・英語の授業はよく分かります。(肯定的な回答割合 94.1%)

・英語の技能のうち、苦手なものを答えなさい。(回答者19人)

【「聞くこと」(0人)、「読むこと」(4人)、「話すこと」(11人)、「書くこと」(4人)】

・「話すこと」のうち得意なものを答えなさい。

【「やり取り」(15人)、「発表」(4人)】

アンケートの結果から、本学級の生徒は「話すこと[発表]」に最も苦手意識をもっていることが分かった。これは、普段の授業でSmall Talkのようなやり取りを行う場面を多く設定しているため、即興的にやり取りを行うことには苦手意識がないこと、一方で大勢の前で発表する際には正確な文章で、かつまとまりのある英文を話さないといけないと思い、読み原稿がないと自信がもてないこと、またそもそも伝えたい内容や聞き手に分かりやすい展開など、話す内容を整理し、構成することに難しさを感じていることが原因であると考えられる。

(3) 指導観

前述の通り、本学級の生徒はまとまりのある英文を大勢の前で話すことに自信がもてなかったり、話す内容を整理し、構成したりする力に課題がある。そのため指導に当たっては、以下の工夫を行う。

① 自ら思考して表現しようとする意欲を高めるための指導の工夫

- ・姉妹校である BCC の生徒や先生に日本に興味をもってもらうために、有名な日本人を紹介するという、実際のコミュニケーションの場を設定する。
- ・「意味順シート」を活用し、文の構成が苦手な生徒については文構造のヒントを与えることで、取り組みやすくする。
- ・生徒が自分で英文を構成できたという実感をもたせるため、始めから語形を示すのではなく、生徒が自ら思考しながら文構成をするように、使いやすい表現を ICT や思考ツールなどを用いるなどして支援を行う。

② 自分の考えをもち、まとまりのある内容を話すための指導の工夫

- ・表現活動において、「なんのために」「誰のために」伝えたいのか立ち返らせる発問等を通して、話す目的を明確にする。
- ・相手がどんな情報を求めているのか、どのようにすればよりよく話すことができるのかなど、内容の一貫性が意識できるよう、話の展開を確認したり整理したりするなど、思考の流れを助けるワークシートを活用させる。その際、支援が必要な生徒にはマッピング等のツールを与えて、思考を促す工夫を行う。
- ・自分で作成したメモ等を活用して、話し手として伝えたい内容や順序を考えながら話す活動を繰り返し行う。

③ 表現力向上に向け、振り返りを生かした指導の工夫

- ・ペアの発表と自分の発表を比較したり、他からのアドバイスを受け、改善策を検討したりすることを通して、まとまりのある内容にするにはどんなことに気を付けたらよいかを振り返らせる。
- ・「分かったこと・分からなかったこと」「次時に向けての質問」「次回気を付けたいこと」「友達のリクエストで参考になったこと」などの視点を与え、生徒がよりよく自己調整を図ることができるよう、振り返りシートを工夫する。また生徒が自己調整を図ることができるように、動画の撮影等で記

録を残す工夫をすることで、学びの足跡を自覚できるようにする。

5 単元の目標

姉妹校である BCC の生徒や先生に対して、日本の有名人に興味をもってもらうために事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

6 複数単元における評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Lesson3	<知識> ・分詞構文の文の構造を理解している。 <技能> ・日本独自の文化について、分詞構文などを用いて伝える技能を身に付けている。	ALT に紹介したい日本のマンガについて考えたことや感じたことを理由とともに話している。	ALT に紹介したい日本のマンガについて考えたことや感じたことを理由とともに話そうとしている。
Lesson5 【本単元】	<知識> ・関係代名詞(目的格)の文の構造を理解している。 <技能> ・日本の有名人について、関係代名詞などを用いて伝える技能を身に付けている。	姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話している。	姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話そうとしている。

7 複数単元終了後のパフォーマンステストについて

(1) 内容

・日本の歴史を勉強している ALT のジャンセンに対して、興味をもってもらうように自分たちが勉強してきたことを基に日本の偉人を紹介しよう。

トピック“Who is the great Japanese you want to introduce to Jansen?”

・2学期から新たに勤務する ALT に対して発表する様子を撮影し評価する。

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件のうち、条件1、2を満たしていれば「b」、全て満たしていれば「a」とする。

条件1 日本の偉人の活躍について具体例を示しながら話している。
条件2 自分の考えや意見を理由とともに話している。
条件3 相手意識をもってALTに興味をもってもらうような発表の工夫(問いかけや確認等)をしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	3つの条件を満たして話している。	3つの条件を満たして話そうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	2つの条件を満たして話している。	2つの条件を満たして話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

パフォーマンステストにおける具体的な生徒の姿(思考・判断・表現)

評価 a	評価 b	評価 c
I want to introduce Toyotomi Hideyoshi. Do you know him? He is a Daimyo who unified Japan for the first time. It was difficult to unify Japan at that time, but he made it. It is impressive. In addition, he was originally from a lower class, but he made effort and became a Daimyo. I think he is so cool because he didn't lose his ambition. I learned the	I want to introduce Toyotomi Hideyoshi. He is a Daimyo who unified Japan for the first time. I think he is so cool because he didn't lose his ambition. I learned the importance to keep the ambition. I want to be like him.	「b」を満たしていない。

importance to keep the ambition. Please check him out.		
--	--	--

8 単元指導計画・評価計画(全 11 時間)

時数	ねらい(■)・主な言語活動等(丸数字)	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>単元課題</p> <p>① BCC(姉妹校)からのビデオレターを視聴し、紹介したい日本人をイメージする。</p> <p>(BCCの先生のビデオメッセージの内容)</p> <p>Do you know Keisuke Honda? He is a very famous Japanese in Australia. He was on the professional soccer club. He scored 7 goals in a year. Australians love him very much. I want to know the famous Japanese more. Who is the famous Japanese you want to introduce to the students in Australia?</p> <p>②自分の考えを伝え合う。</p> <p>A: Who is the famous Japanese you want to introduce to the students in Australia?</p> <p>B: I want to introduce Mr. Suda Masaki. He is an actor. He is very cool. How about you?</p> <p>A: I want to introduce Ms. Mori Nana. She is an actor. Her smile is very cute.</p> <p>③会話の内容を振り返り、課題を整理して学習の見通しをもつ。</p>				
2	<p>■自分の会話を振り返り、課題を見付け、別のパートナーに再度紹介する。</p> <p>A: Who is the famous Japanese you want to introduce to the students in Australia?</p> <p>B: I want to introduce Mr. Suda Masaki.</p>				

	<p>He is an actor. He is very cool. His performance moves me. How about you?</p> <p>A: I want to introduce Ms. Mori Nana.</p> <p>She is an actor. Her smile is very cute. I like her very much.</p>				
3	<p>■人や物について詳しく説明する。 (関係代名詞目的格の導入)</p> <p>① 教科書本文を読んで、関係代名詞を使う効果に気付かせる。</p> <p>② 関係代名詞(目的格)の働きを理解し、自分の身の回りの人を詳しく説明する。</p> <p>・○○is my teacher who Mr. △△ always talks with.</p> <p>・○○is my friend who I often go shopping with.</p>				
4 ~ 5	<p>■日本の有名人について、その人物の活躍を具体例とともにペアで紹介する。 (視点①日本の有名人について、その活躍を具体例を示しながら話している。)</p> <p>①意見を伝え合う。</p> <p>A: Who is the famous Japanese you want to introduce to the students in Australia?</p> <p>B: I want to introduce Mr. Suda Masaki.</p> <p>He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. How about you?</p> <p>A: I want to introduce Ms. Mori Nana.</p> <p>She is an actor who won the Best Actor Award. Her smile is very cute.</p> <p>② 紹介したい人物について、メモに整理して発表し合う。</p> <p>③ キング牧師について書かれた教科書の内容を読んで、キング牧師の取組や活躍について書かれた箇所に着目し、視点①をふまえて話す効果を認識するとともに自分の紹介文の内容を改善する。</p>				

	<p>I want to introduce Mr. Suda Masaki. He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. <u>His movies are very impressive.</u></p>				
<p>6 ~ 7</p>	<p>■日本の有名人について、自分の考えや意見を理由とともに話す。 (視点②自分の考えや意見を理由とともに話している。)</p> <p>① ビデオレターを再度視聴し、学習課題及び発表する際の条件を確認する。</p> <p>②意見を伝え合う。</p> <p>A: Who is the famous Japanese you want to introduce to the students in Australia? B: I want to introduce Mr. Suda Masaki. He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. His movies are very impressive. How about you? A: I want to introduce Ms. Mori Nana. She is an actor who was in charge of the cheer leader of high school soccer tournament in Japan. Foreigners said she was very cute. If you have never watched her movie, please watch.</p> <p>③ ペアでの紹介の後に教師から質問を投げかけ、自分の考えを理由とともに伝えることで内容がより深まることに気付かせる。 質問: Why do you want to introduce him/her?</p> <p>④ 発表内容を改善し、違うペアに伝える。 I want to introduce Mr. Suda Masaki. He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. His movies are very impressive. <u>I like him because he is very serious about</u></p>				

	<p><u>his job. He tries to be the real character which he was given. I think he is the very good actor in Japan.</u></p>				
8	<p>■日本の有名人について、聞き手が興味をもつような工夫（問いかけや確認）をして発表する。（視点③相手意識をもってALTに興味をもってもらうような発表の工夫（問いかけや確認等）をしている。）</p> <p>① 教師のモデル文を2つ聞き、（聞き手が興味をもつような工夫をしているものとそうでないもの）比較して、どちらの方が興味をもちやすいか気付かせる。</p> <p>② ペアで発表し、聞き手が興味をもつような工夫に気付き、自分の紹介文を改善する。</p> <p>B: I want to introduce Mr. Suda Masaki. <u>Do you know him?</u> He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. <u>Do you like to watch movies?</u> His movies are very impressive. I like him because he is very strict with himself. He tries to be the real character which he was given. I think he is the very good actor in Japan.</p>				
9	<p>■ 視点①②③を意識しながら日本の有名人について発表したものを動画撮影し、相互評価を行う。</p>				
10 [本時]	<p>■日本の有名人をオーストラリアの姉妹校の先生、生徒に対して、より内容が深まるよう発表内容を改善する。</p> <p>① ペアで発表し合い、内容面について質疑応答をすることで、改善する情報のヒントとする。</p> <p>② 内容がより深まるよう、違うペアに発表しながら改善を図る。</p> <p>③ 参観者に発表し、内容についての質問を受けてやり取りを行う。またこの内容をビデオ撮影し、パフォーマンステストに向けて発表内容を改善する際に活用する。</p> <p>I want to introduce Mr. Suda Masaki.</p>		○	○	活動の様子 動画

	<p>Do you know him? He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool.</p> <p>Do you like to watch movies? His movies are very impressive. <u>The famous one is “Drowning knife”</u>. Now, he is widely known in the world.</p> <p>I like him because he is very strict with himself. He tries to be the real character which he was given. I think he is the very good actor in Japan.</p>				
11	<p>■ 動画撮影を行い、相手に送る。</p> <p>I want to introduce Mr. Suda Masaki.</p> <p>Do you know him? He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool.</p> <p>Do you watch Japanese movie? His movies are very impressive. In addition, he is widely known in Korea and China. He is playing an active part in the world. He is widely known because of the movie, Drowning Knife.</p> <p>I like him because he is very serious about his job. He tries to be the real character which he was given. I think he is the very good actor in Japan.</p>	○	○	○	動画
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	動画

9 本時について

(1) 本時の目標

姉妹校の生徒たちに日本の有名人について興味をもってもらうように、その活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて紹介する。

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準
思考・判断・表現	・姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話している。
主体的に学習に取り組む態度	・姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話そうとしている。

(3) 本時の指導過程と評価

学習活動	指導上の留意点 (◆教師の支援)	評価規準 (評価方法)
1 帯活動(10分) ① Small Talk A: Can you introduce Doraemon to me? B: Doraemon is a robot which has many secret tools. He helps Nobita with them. How about you?	◆まずは支援をせずやり取りをさせてみて、必要であればマッピング等の支援を行う。	
2 本時の学習課題		
<p>日本の有名人について姉妹校の生徒たちに興味をもってもらえるように内容をより改善して発表しよう。</p>		
3 ペアワークで内容の改善を図る。 (20分) ・これまで学習してきた目指す発表の視点を生徒から出させる。 ・ペアで、一方の生徒が発表し、内容に関する質疑応答をして加えるべき内容のヒントとする。	◆発表内容を深めるための質問にはどのようなものがあるか生徒から出させ、全体で交流する。 (例) ・What's his/her masterpiece?	

<p>A: Who is the famous Japanese person you want to introduce to the students in Australia?</p> <p>B: I want to introduce Mr. Suda Masaki.</p> <p>Do you know him? He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool.</p> <p>Do you watch Japanese movie? His movies are very impressive. I like him because he is very serious about his job. He tries to be the real character when he was given a role. I think he is a very good actor in Japan.</p> <p>A: What's his best movie?</p> <p>B: His best movie is "Drowning Knife".</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアからされた質問を基に発表内容を改善し、違うペアに発表する。 ・聞き手は次の視点で発表を聞き、自分の発表と比較しながら納得感のある内容を構成するためのヒントとする。 <p>(意識するポイント)</p> <p>視点① 日本の有名人の活躍について具体例を示しながら話している。</p> <p>視点② 自分の考えや意見を理由とともに話している。</p> <p>4 発表内容を再度改善する。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・How many CDs were sold in the world? ・What award did he/she get? ・What country is he/she famous in? ・How do foreign people treat him/her? ・What do you think of him/her? <p>◆特に視点①、②に関連する質問をしている生徒がいた場合はそれを全体交流し、視点①、②に関連した質問をすることを生徒に意識づける。</p> <p>◆自分が伝えたい内容を英語で表現するための手立てとして、単元を通して書き溜めた Useful phrases paper を活用させる。</p>	
--	---	--

<p>5 ペアで参観者のもとへ行き、1人ずつ発表し、内容に関するやり取りを行う。その様子をペアのもう1人が動画撮影する。 (10分) 視点①、②を基に生徒の発表を聞いてもらう。</p>	<p>◆発表後に内容についてのやり取りやフィードバックをもらうことで次時につなげる。 (例) A: I want to introduce Mr. Suda Masaki. Do you know him? He is an actor who won the Best Actor Award. He is very cool. Do you watch Japanese movie? His movies are very impressive. His best movie is Drowning Knife. I like him because he is very serious about his job. He tries to be the real character when he was given a role. I think he is a very good actor in Japan. B: Why do you like Drowning Knife? A: Because I can learn many things. B: What did you learn? A: I learned to think before I act.</p>	<p><思・判・表> ・姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話している。 (動画) <態> ・姉妹校の生徒たちに日本の有名人についてその活躍を具体例とともに考えたことや感じたことを理由を加えて話そうとしている。 (動画)</p>
<p>6 本時の振り返りを行う。 (5分) (生徒の振り返りの例) ・今日は友達に発表をした時に、代表作について質問されたのでその内容を加えてまとまりのある内容を話すようにしました。</p>	<p>◆振り返りの視点を与えることで次時につなげる工夫をする。</p>	

・今日は発表した後に「その人についてどのように思うのか」と質問をされたので、自分の考えの部分も改善が必要だと思いました。